

にして、それより以後は遅きに失すればなり。又ここに利家の正室芳春院を筑前内とし、文祿元年十二月廿六日の消息に孫四郎母とするが故に、麻阿姫は庶出なるべしといはる。

六月十五日。前田利勝、伊勢大神宮に、越中礪波郡小坂の内百二十俵の地を寄進す。

【堤文書】 伊勢 一九四〇

越中国小坂之内ニ有之、伊勢領百貳拾俵之事、令寄進狀如件。

天正拾四

六月十五日

孫四郎

利勝 在判

御師 堤源介殿

七月四日。前田利家、鹿島郡七尾魚町年寄に、同町以外に於いて魚類を賣買するを禁す。

【七尾町文書】 鹿島郡

一九四一

當町魚物賣買之事、魚町外脇々にて賣買一切令停止。若違背之族於有之者、可加成敗者也。

天正十四

七月四日

魚町年寄中

七月五日。前田利家、鳳至郡諸橋村に、前年の皆濟狀を與ふ。

【諸橋文書】 鳳至郡

一九四二

天正十三年分

諸橋村

一、千五百八十壹俵二斗壹升七合五勺 高

此内廿俵

二郎兵へにふち

此荒貳俵壹斗五升

百九十貳俵二斗貳升五合 荒

殘高千三百六十八俵二斗九升二合五勺

此内四百十俵二斗七合

三ツ免に引

九百五十八俵八升五合五勺

定納

此内

三百廿七俵

藤兵へ與左衛門
請取面

廿二俵

金貳兩御印有之

貳百四十俵

金貳枚只今上申候

合五百八十九俵

殘て三百六十九俵八升五合五勺

未進

右惣未進金子八枚上候まで、殘りは閣皆濟如件。

天正十四 七月五日

在印

七月八日。前田利家、珠洲郡金峰寺村に、前年の皆濟狀を與ふ。

【金峰寺文書】 珠洲郡

一九四三

天正十三年分

直郷内 金峯寺

一、九拾四俵七升

高

此内貳拾俵

金峯寺に

此荒六俵壹斗五升

貳拾四俵貳升五合 荒

殘高

五拾俵四升五合

此内拾五俵壹升三合

三ツ免ニ引

三拾五俵三升貳合

定納

此内

拾八俵

喜七神の
請取之面

拾五俵

金壹兩壹分只今上申候

合三拾三俵

殘ル貳俵三升貳合

さしおき候也 未進

右皆濟所如件。

天正十四 七月八日

在印

七月十一日。前田利家、鹿島郡石崎の百姓に、赤浦に於いて餌取を行ふを許す。

【石崎村文書】 鹿島郡

一九四四

魚之餌之儀、從先規於赤浦表取由候間、如前々無別儀可執之者也。

天正十四 七月十一日

在印

石崎浦百姓中

八月十三日。前田利勝、越中礪波郡篠河村の市目を定む。